

新着情報



一般財団法人日本安全保障フォーラム

第36回講演会

『非科学的俗論を伐つ』

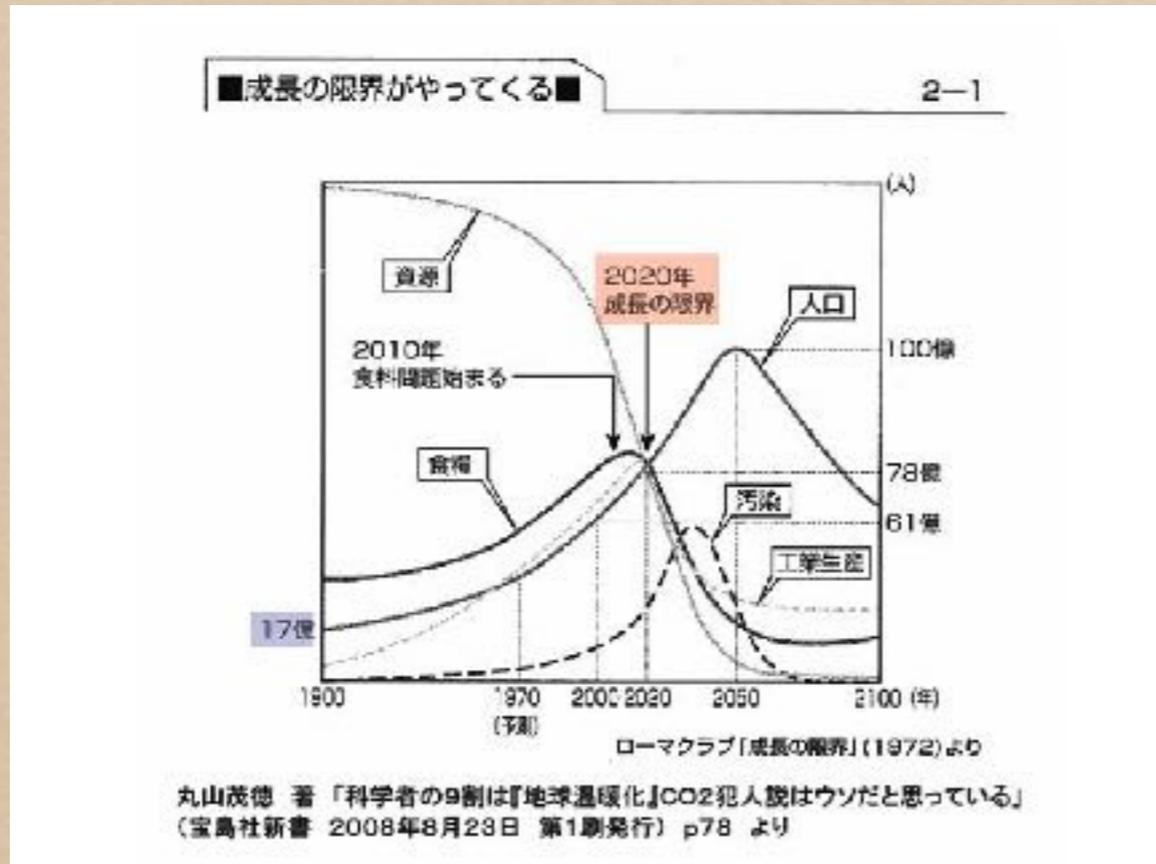
-科学的事実と論理を武器に-

武田邦彦

第一部 環境問題の非科学

第二部 日本文明と技術

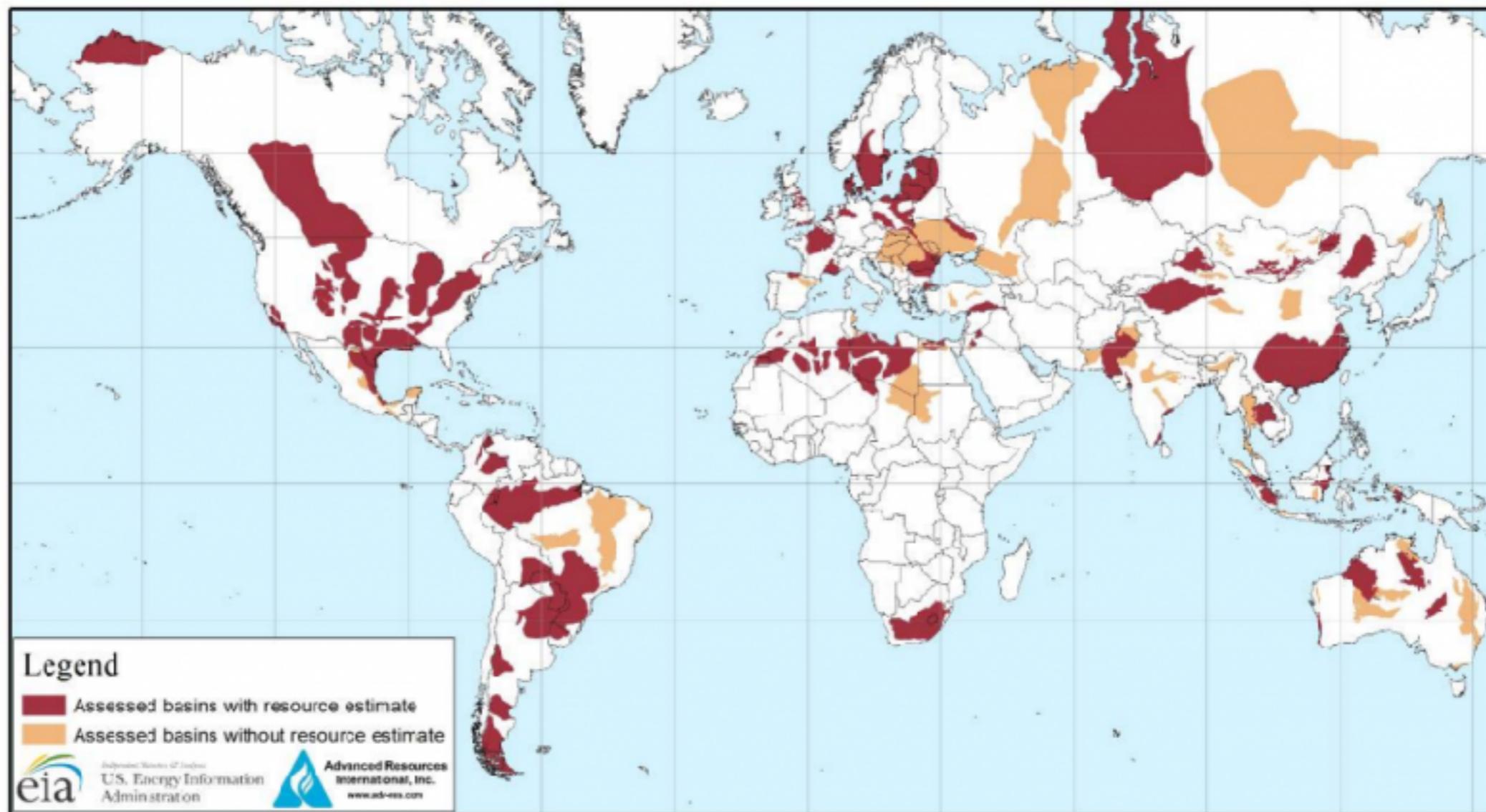
「成長の限界」は不明



If the present growth trends in world population, industrialization, pollution, food production, and resource depletion continue unchanged, the limits to growth on this planet will be reached sometime within the next 100 years.

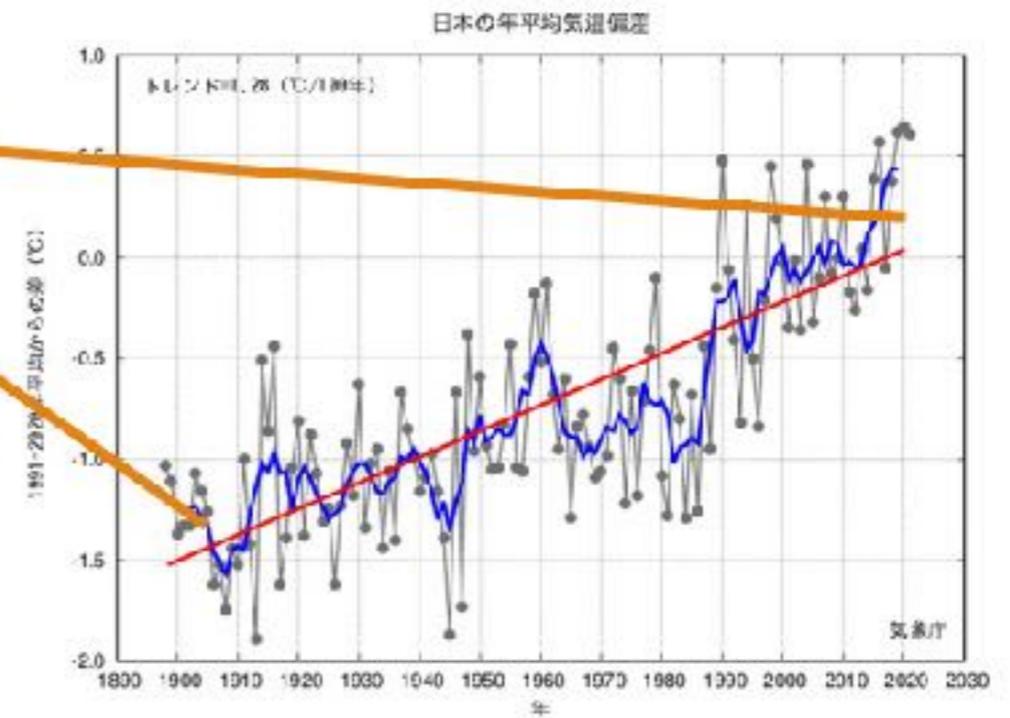
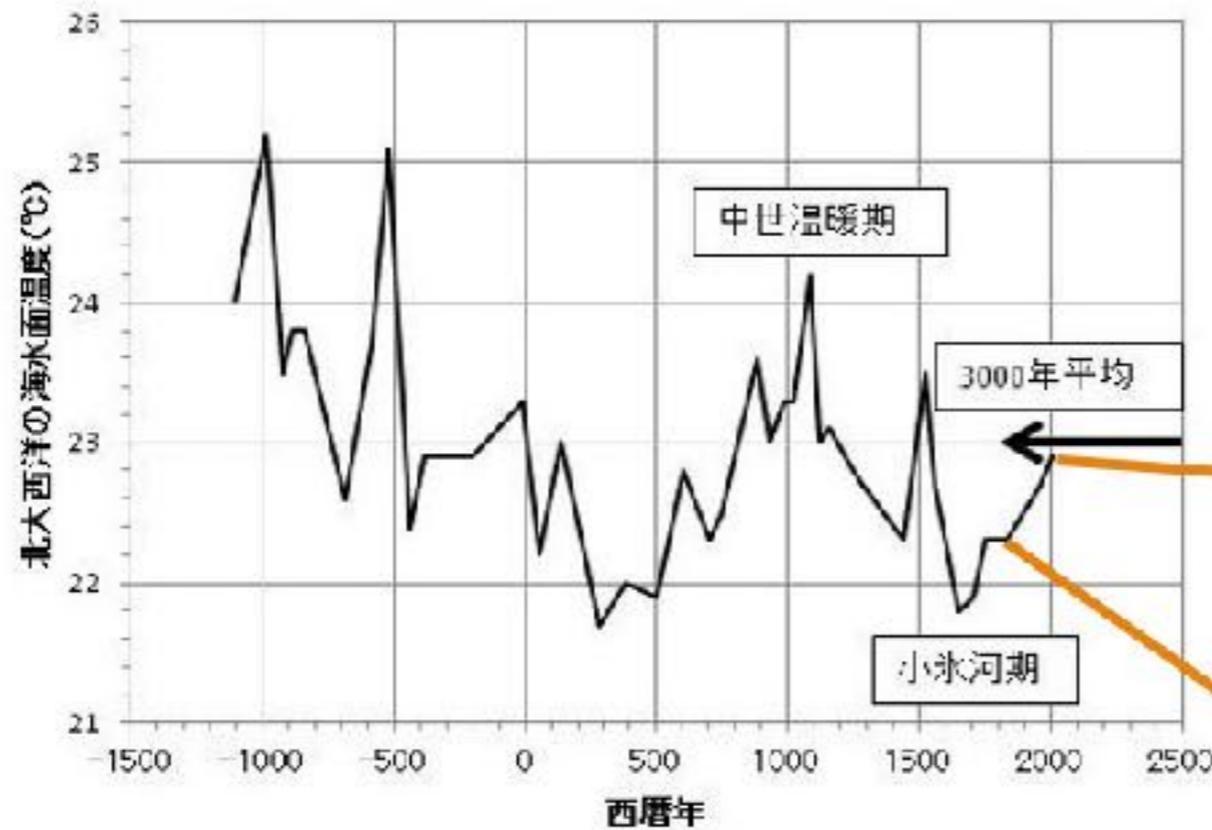
「石油枯渇」は非科学

Figure 1. Map of basins with assessed shale oil and shale gas formations, as of May 2013

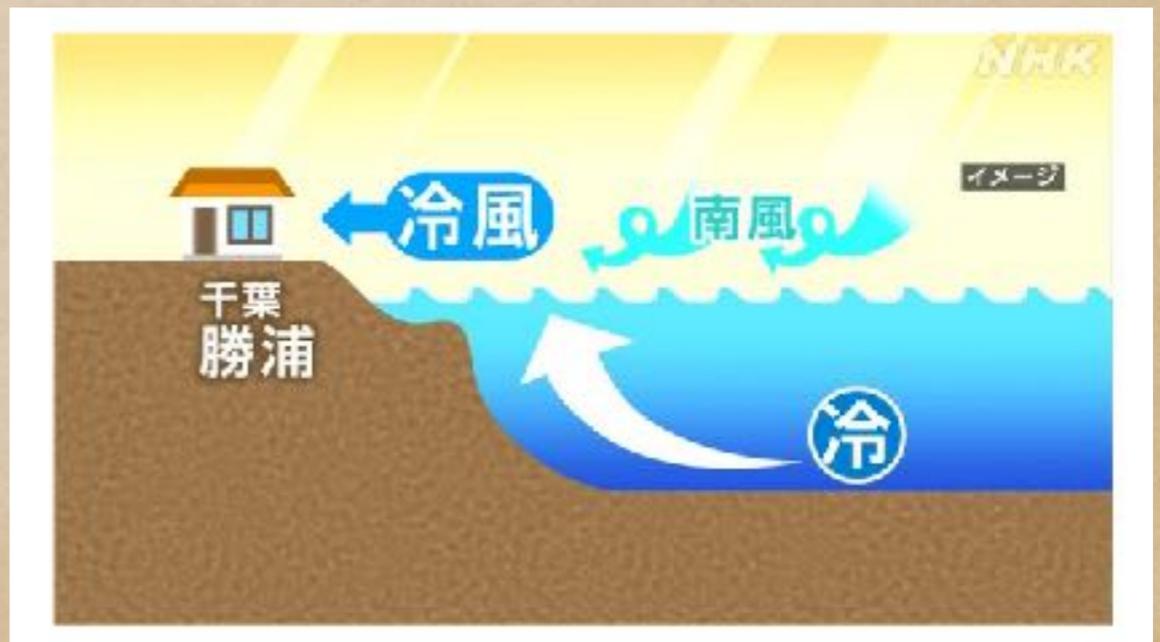
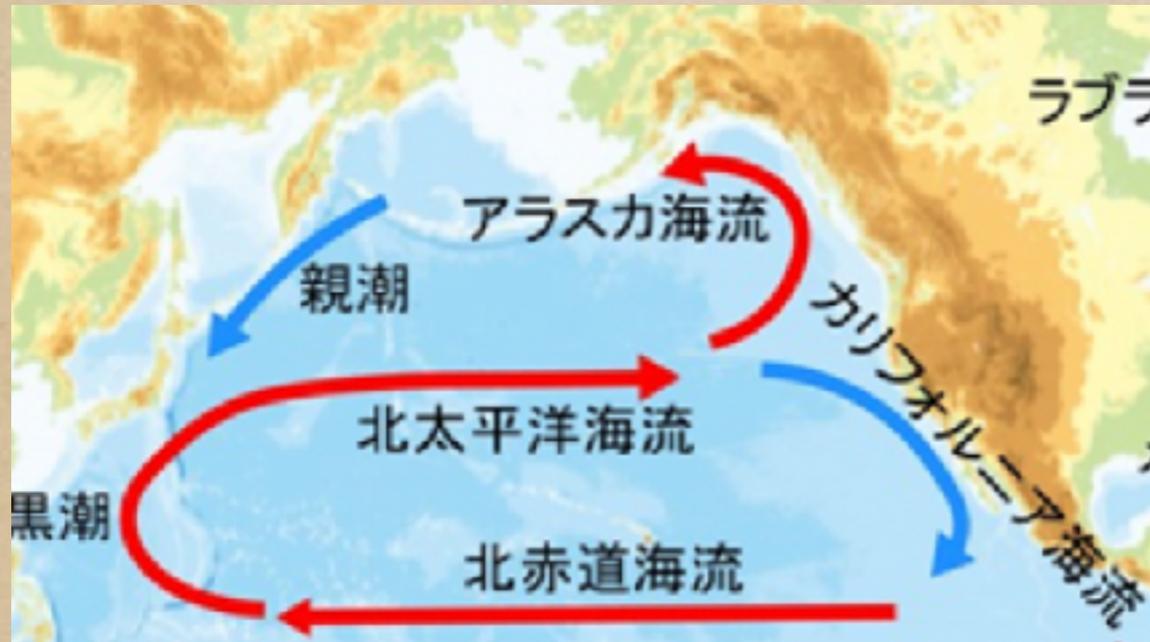


Source: United States basins from U.S. Energy Information Administration and United States Geological Survey; other basins from ARI based on data from various published studies.

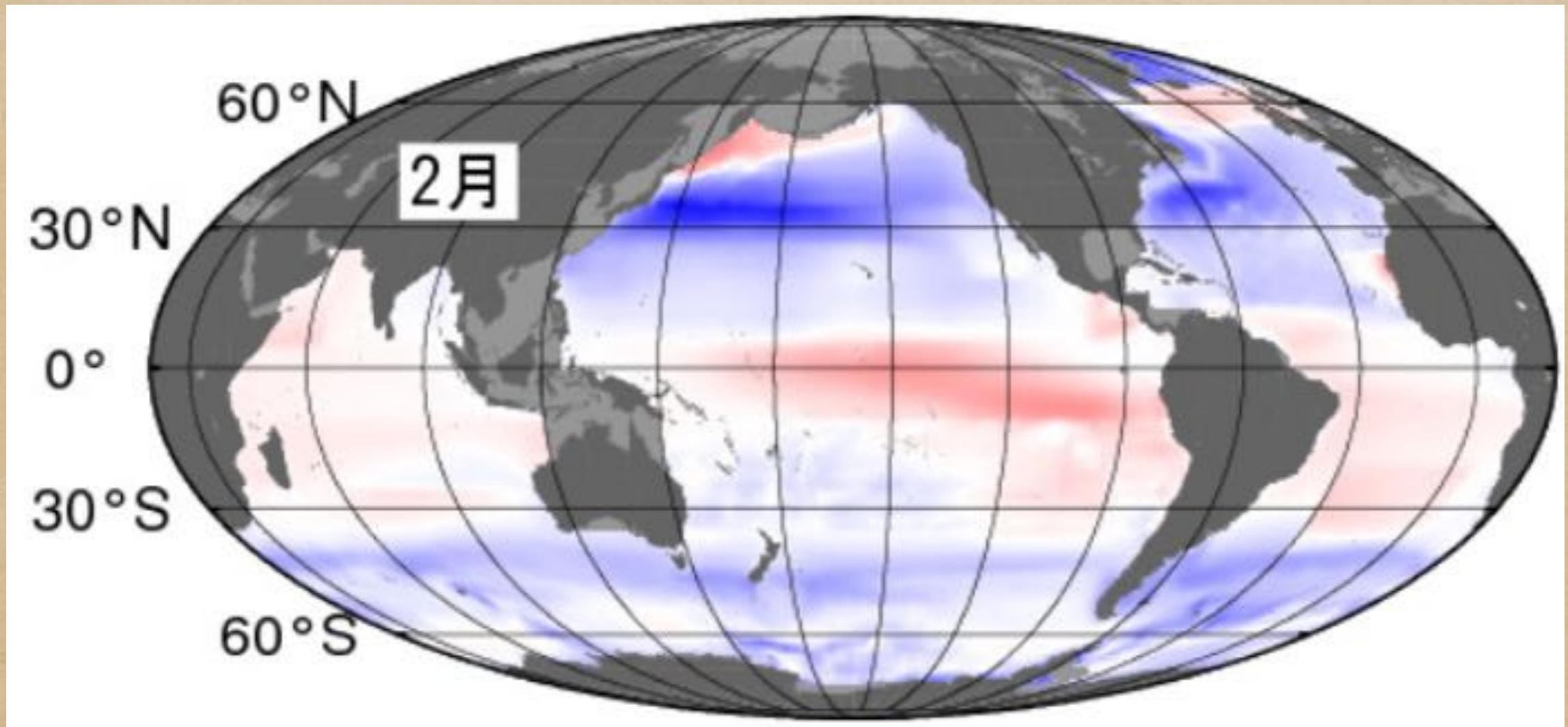
化石燃料枯渇と地球温暖化



勝浦は猛暑日がない



日本の東の海はCO₂不足



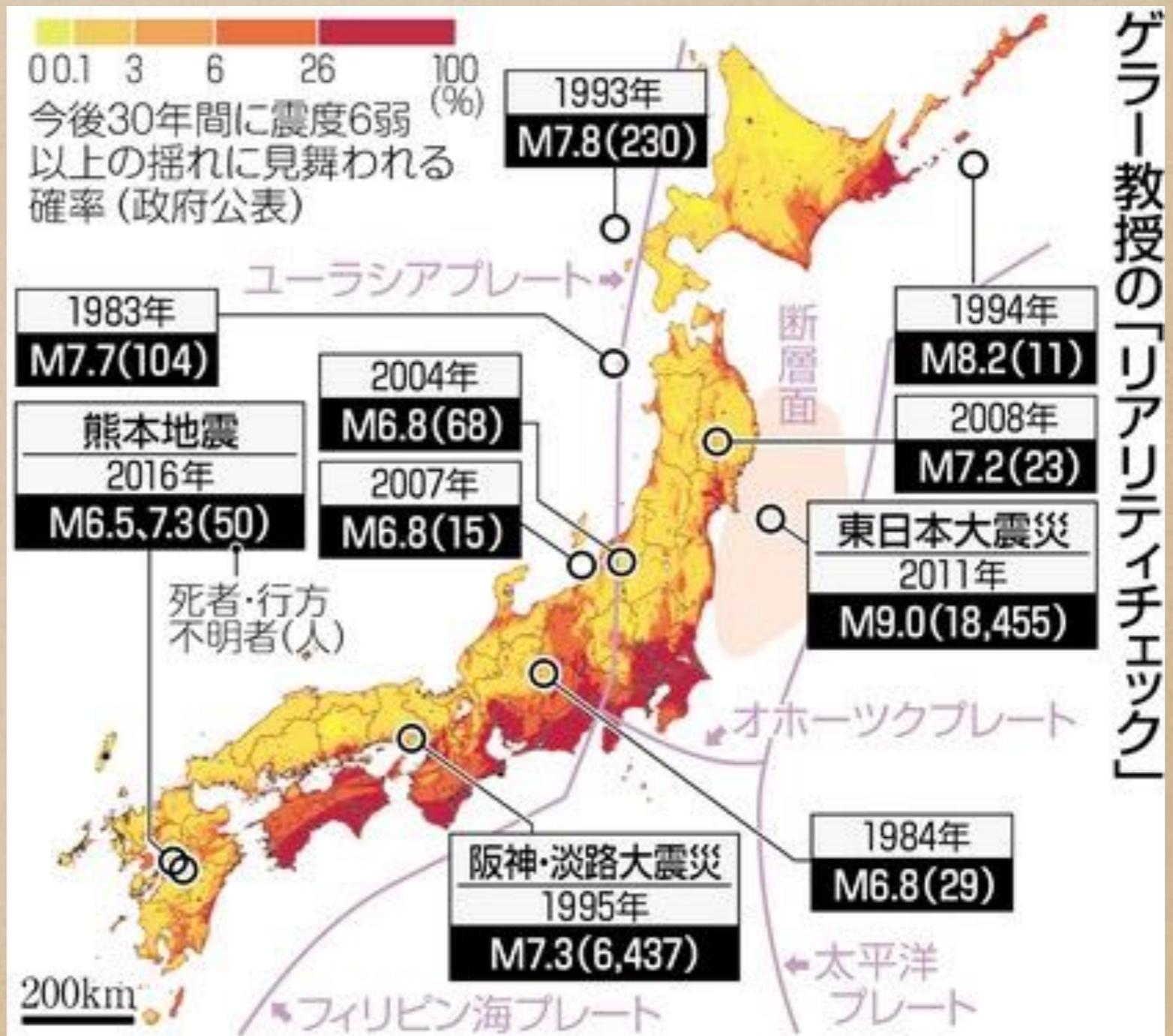
改善対策を取らない政治

1) 気温が上がらないようにする

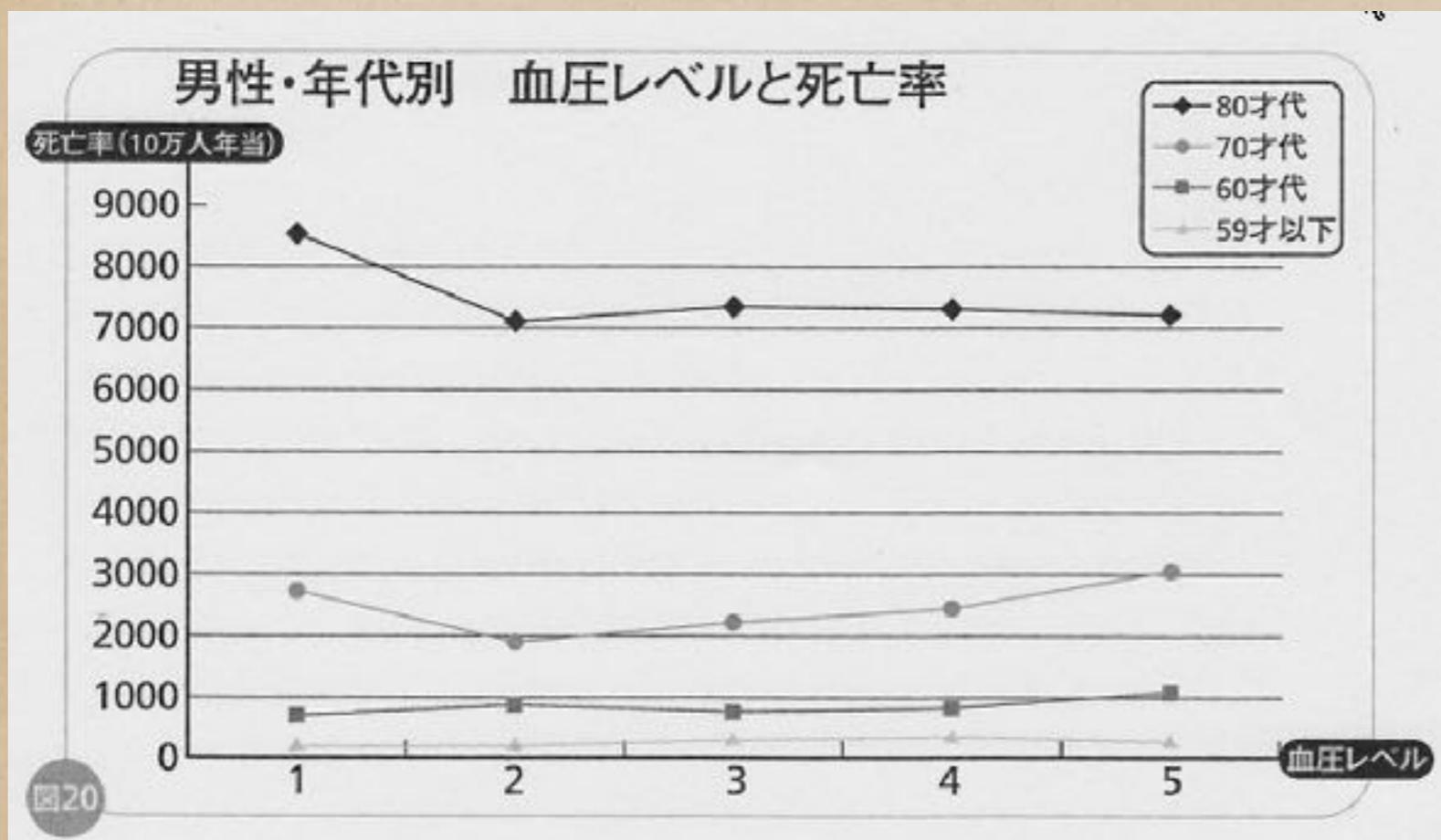
- 海流の攪拌（将来性もある）
- 石炭火力と排ガスと灰の利用
- 気温変化に強い都市と農業

2) C（炭素）の積極的利用

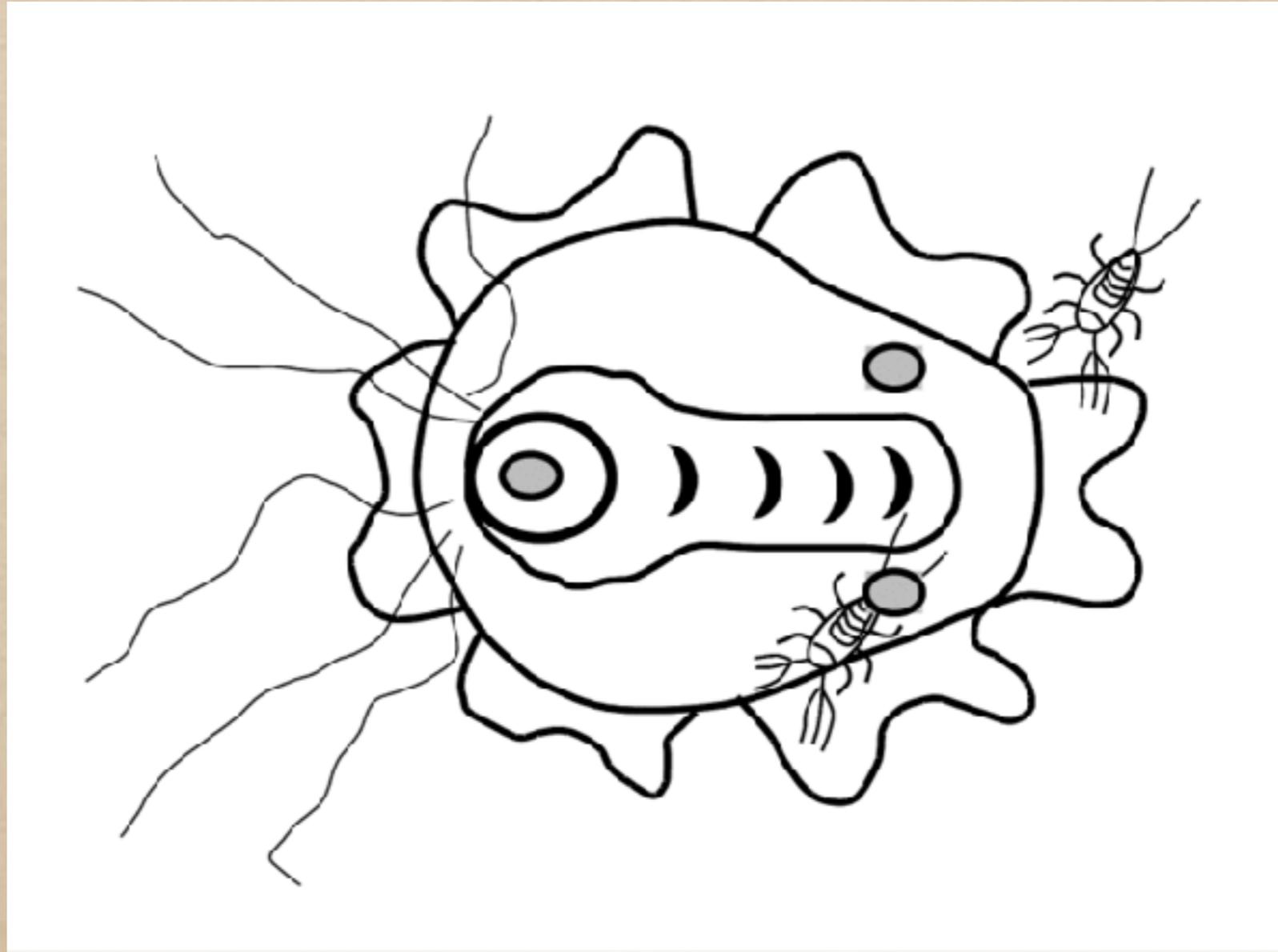
非科学社会の日本



医療・健康もビジネス優先



プラスチックはなぜ生まれたか



第二部 日本文明と技術

3つの文明



力

AかBか？

厳しい教え

多様

AもBも

多様な教え

自然

決めない

教えない

3つの社会



力
競争社会
人と動物

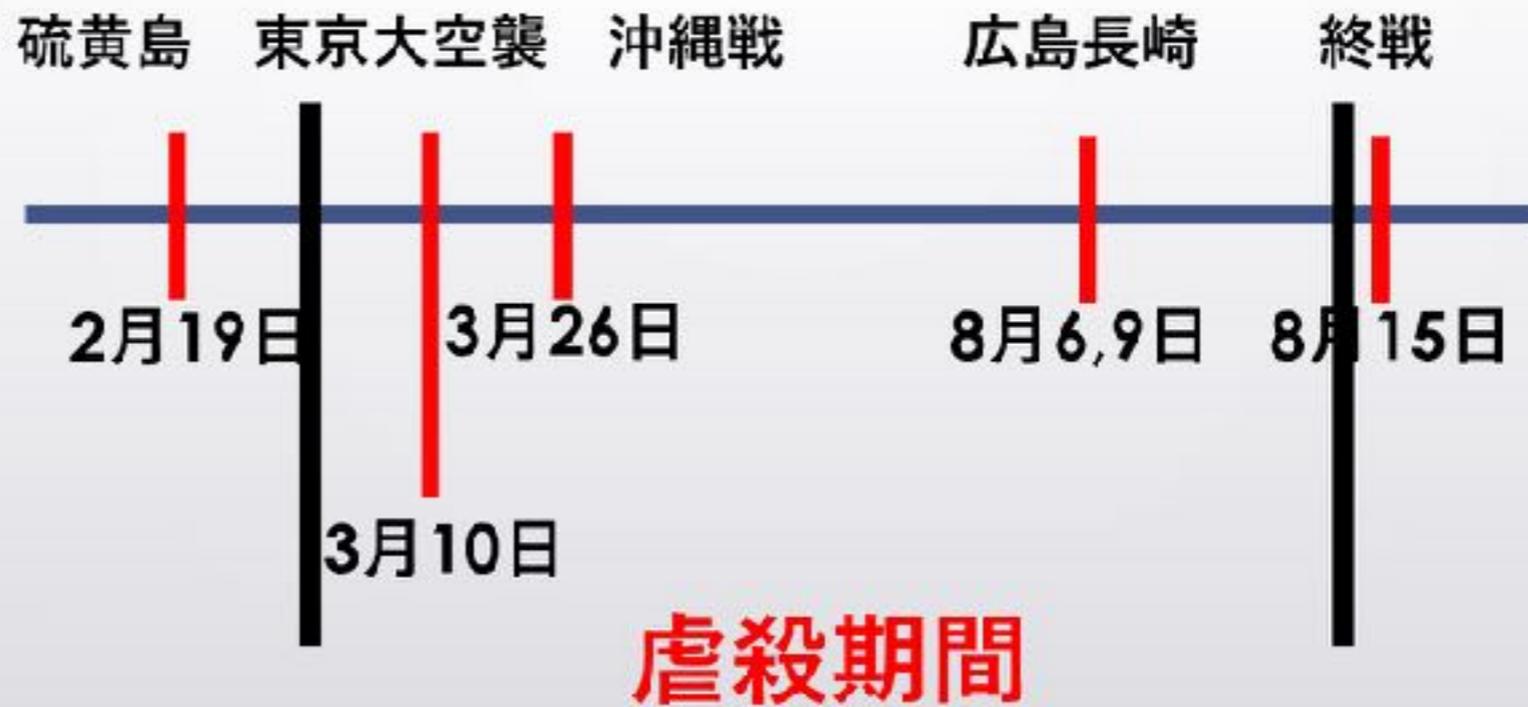


多様
カースト
輪廻



自然
天皇
同じ

戦争と虐殺

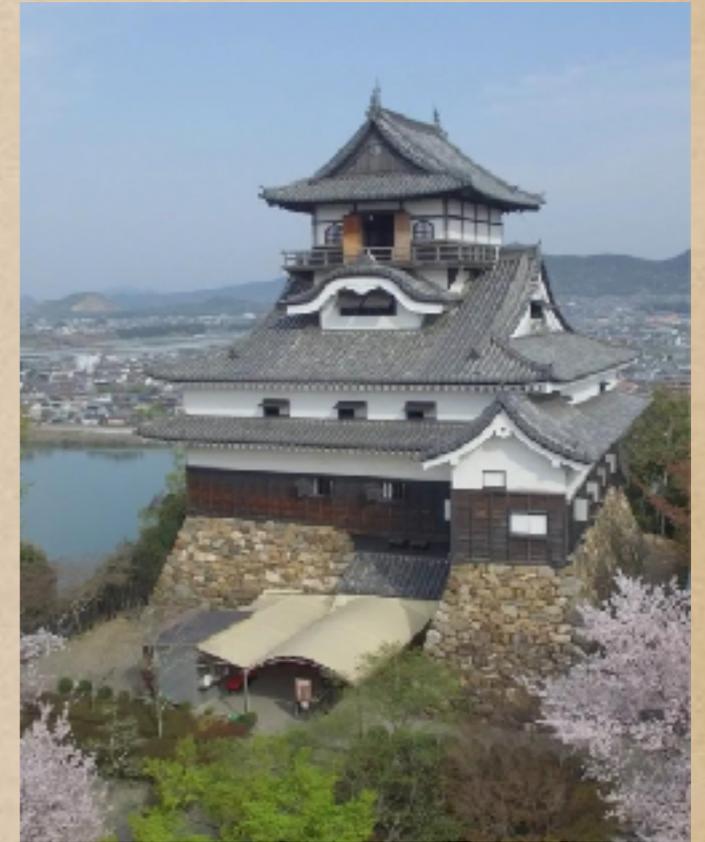


戦争中でも分かっていた

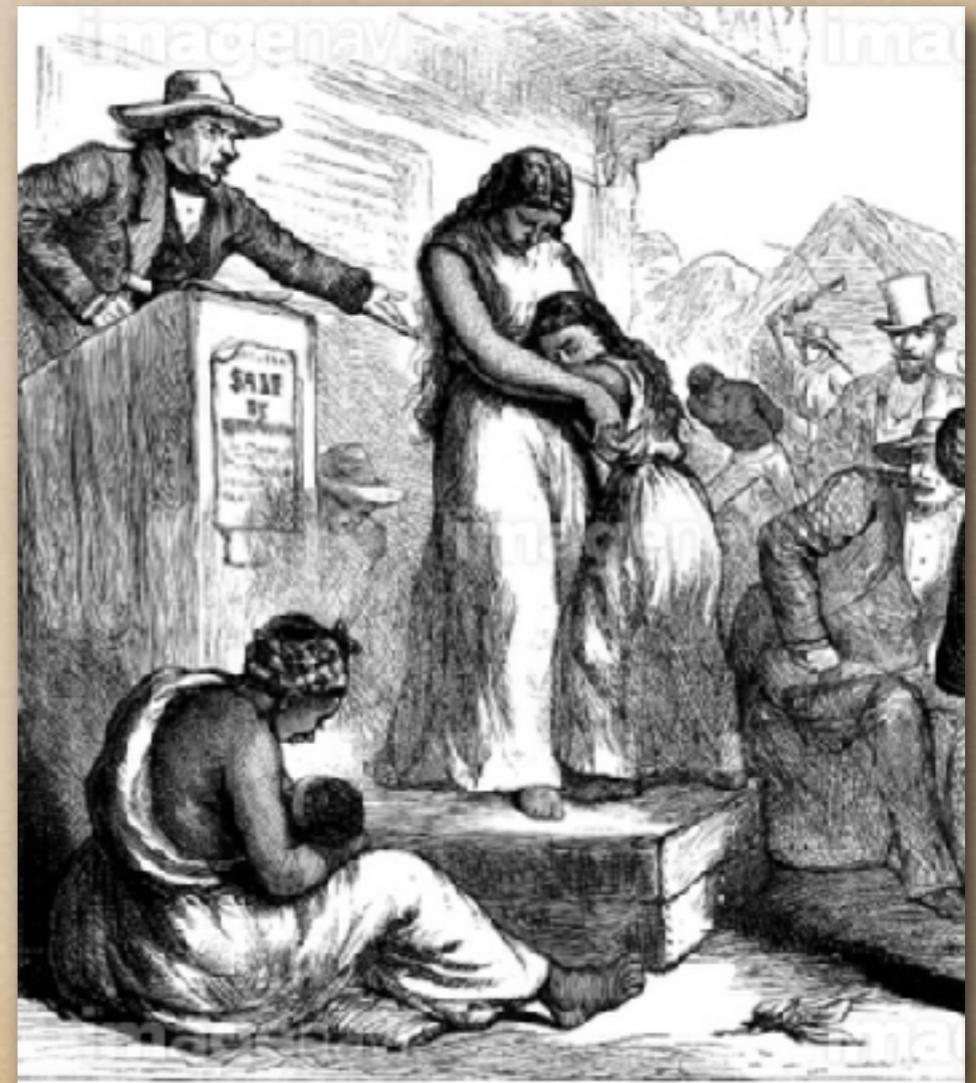
岡田 資



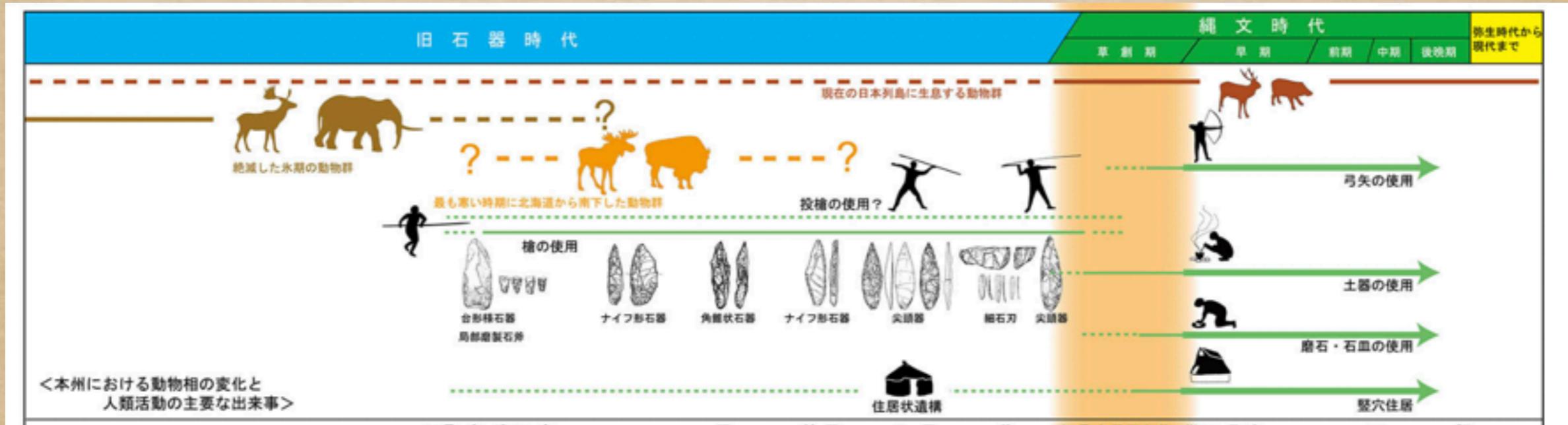
日本の城と役割分担



自然の正義と力の正義



日本の技術の特徴



人間の仕事と奴隷の仕事

自分の仕事

自分の時間

睡眠など

仕事

自分の時間

睡眠など

科学の意義についての武田見解

科学と社会の2つの考え方

1. 科学者が自ら「人間のための科学」を意識する必要がある。
2. 科学者はその成果をショーウィンドウに飾るだけで良い。

目次	
自己を見つめる 科学の手帳 自分を知ることがいかにほんまもしろい	赤川 大郎
小説を読む(一) 雨傘 ●文学への誘い 川端文学と「蒙の小説」 他人の夏	川端 康成
身近な発見 愛用の手帳 わさわざ書く	白川 方夫
詩を味わう 雨にちまった花に…… 夏の文	川端 康成
●文学への誘い 季節のあり方をうたった詩 生質は	武田 邦彦
	宮沢 章夫
	中野 中也
	石坂 洋次郎
	吉野 弘
	高橋 素子

